

## 2020 年末成小学校 3 年生 環境体験学習報告書

石原 則幸

行事名	末成小学校 環境体験学習 3 年生 秋の部
実施日時	2020 年 11 月 17 日（火曜日）10 時 30 分～12 時 30 分
場所	多目的室
内容 テーマ	新型コロナ禍で小学校での環境体験学習はスタッフの都合で行いにくくなり、学校担任教師と話し合いの結果、教室を出ての校外学習は行わず、教室での授業を依頼され、授業内容は任されて行なった。 テーマ 四季を通して自然を感じ、大切にする。
対象	末成小学校 3 年生 1 組、2 組計 児童数 60 名 担任 倉石先生 中村先生 サポートスタッフ 2 名
MNC スタッフ	石原 小山 どんぐり集め 村上
経過・状況 (授業))	<p>スケジュール</p> <p>10:00 MNC スタッフ 多目的室で準備開始</p> <p>10:35 子どもたち集合 初めの挨拶と学習の目的説明</p> <p>10:40～11:20 3 時限授業</p> <p>コロナウイルス、ドングリ、もみじの天ぷら、もみじ 紅葉の機序、種の散布 スライドショー もみじ</p> <p>11:20～11:30 トイレ休憩</p> <p>11:30～12:20 4 時限授業</p> <p>衛星から見た地球、生物の発生と人間、植物と動物、食物連鎖 スライドショー サクラ、チューリップ</p> <p>12:20～30 まとめ、後片付け後解散</p> <p>今年度初めての環境体験学習であったが、子どもたちと屋外に出ることなく、多目的室で自然に関連するテーマを取り上げ、パワーポイントで学習をしました。</p> <p>それぞれのテーマに感心を持ち、興味を持ち新しい関心を持ってくれたらと思いつながら進め、子どもたちは少しでも知っているテーマでは声が上がり、話しも弾ませていました。</p> <p>椰子の実を見、持ち触れて、日頃さわれないものなのでうけていました。</p> <p>恒例にしている、アルソミトラの種の浮揚を模した、発泡スチロールのグライダーは興味を集めました。学習後そのグライダーを皆に持って帰ってもらいました。</p> <p>もみじの紅葉の機序は少し難しいかなと思ったが、既に知っていて説明ができる子もいて知的好奇心を刺激するともっとたくさん興味が広がり増やしていけるように、私たちはその手伝いが出来れば良いと思っている。</p> <p>命の繋がり、食物連鎖の話は楽しく聞いていました。決してその頂点は人間ではなく、それを維持していくのに、人間に責任があると伝えました。</p> <p>スライドショーでは、秋はもみじ（箕面、有馬温泉、シアトル、バンフ）を、春（琵琶湖周りのさくら、オランダのチューリップ、ベルギーの青いヒヤシンス）を見ました。チューリップ畑では声が上がりました。</p>

授業風景



子どもたちが来る前の多目的室



始まりの先生のお話



食物連鎖の話



質問に答えて



ZOOM で学習に参加している子どもに  
椰子の実をテレビカメラに近づけ説明  
する先生



ドングリ、松かさを見て、持って帰って  
もらいました。

身体の都合で体験学習に参加出来ない子どもに ZOOM で自宅から参加出来るよう準備をしていました。

PCが学校にも、家庭にも、出来ればWi-Fi環境も必要で、学校も家庭も意識改革が必要な時代に進もうとしています。今年度中には一人1台PCを持つようになるようで、教育のデジタル化はドンドン進んで行くのを実感しました。